

苫小牧市長 金澤 俊 様

# 住民組織活動の推進に関する 要 望 書

苫小牧市町内会連合会

## 令和8年度 住民組織活動の推進に関する要望について

貴職におかれましては、多様化する町内会活動にご理解をいただき、これまで地域課題の解決に向けた要望にお応えいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

本会と致しましても、まちづくりの役割を担う一員として、積極的な活動を目指さなければならないものと認識しています。

しかし、日々変化していく時代の中で、複雑化する社会構造や人間関係と合わせ、地域活動に対する認識の希薄化などから、町内会を取巻く環境は厳しくなっており、今後の地域活動の継続に危機感を感じております。

苫小牧市では、希望や魅力があふれる“選ばれるまち”を目指し、町内会活動に向けた支援や、安全・安心なまちづくりにも精力的に取り組まれておられると認識をしております。

本要望に関しましては、町内会・自治会の連合組織として、共に支えあい、安全・安心で快適に暮らせるまちづくりに協力していく責務を果たしていくため、「地域の声」をまとめ、要望させていただくものであります。

これらの要望につきましては、本会といたしましても取組みの充実及び発展に努めてまいります。町内会を取り巻く環境をご理解いただき、様々な観点から、より一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年2月4日

苫小牧市長 金澤 俊 様

苫小牧市町内会連合会  
会長 山端 豊 城

## 要望1 『防犯灯の更新・維持管理』

市内では、古くから各町内会による防犯灯の設置・維持管理が行われておりますが、地域における生活環境や地域活動も多様化し、防犯灯の維持管理の負担が年々増加しています。

苫小牧市は、平成27年度に公費でLED防犯灯に一斉更新されましたが、10年間の灯具保証期間満了を迎えます。このため、令和8年度以降の更新に向けて、貴市と当会による意見交換が行われております。

現在の町内会加入率は、令和7年に51%台まで減少しています。従来どおりの負担割合による街路灯更新では、町内会の負担は軽減されず、未加入者との公平性が保たれません。

つきましては、市民の安全・安心を守るためにも、いち早く防犯灯の整備・維持管理の方針を決定していただき、地域へ丁寧の説明していただくよう、要望いたします。

## 要望2 『町内会活動への充実した支援』

### <町内会加入促進の取組強化>

近年の少子高齢化の進行により、町内会活動を支える役員の高齢化や、次世代を担う役員の成り手の確保が課題となっており、さらには、高齢者の町内会退会、アパート入居者への加入案内や会費徴収、町内会加入率の低下など多くの課題があります。

これらの課題解決につながるよう、市と町内会が共に取り組む形で、加入促進の対策を強化していただくよう要望します。

### <町内会活動支援助成金の増額と積算方法見直し>

生活環境の変化は、町内会活動を取り巻く環境に影響をもたらし、町内会加入率の低下に、歯止めがかからない状況となっています。

会員数の減少は、数少ない収入源である会費収入の減少につながっていることから、安定した町内会運営に見通しをつけていくためにも、町内会活動支援助成金の増額を要望します。

また、助成金の積算にあたって、各町内会で実施している世帯数調査は、会員および役員の高齢化が著しく、対応が厳しい町内会も多くなっていることから、世帯数調査を廃止し、積算方法の見直しを要望します。

### <総合福祉会館の補助制度の充実>

近年の物価高騰は収まる気配がなく、町内会運営の大きな負担となっており、今後の活動の維持継続に向けて、正念場を迎えていると言っても過言ではありません。

財源確保に苦慮している現状をご理解いただき、地域活動の拠点となる総合福祉会館の整備補助について、補助額の増額や、小規模修繕の補助基準の見直しなど、制度の充実を要望します。

### <地域青少年対策促進補助金の増額>

町内会の維持継続に向けては、現在の活動内容を単位町内会でも見直していくことが必要となりますが、将来を担う子どもたちの行事は、大事にしていきたいと考えております。

苫小牧市は、「子どもど真ん中のまち」への挑戦していく姿勢を示されており、未来への投資として、地域青少年対策促進補助金の増額を要望します。

### 要望3 『地域における安心・安全の確保方策』

#### <民生委員・交通安全指導員の担い手確保>

苫小牧市の65歳以上の人口割合は30%を超え、近年は、高齢者独居世帯も増加していると認識しています。

地域では、顔が見える近隣の付き合いを大切にしながら、見守りや交通安全の活動などを展開しておりますが、年々、ご尽力いただいている担い手の確保が厳しくなっています。

社会福祉の増進と、地域で安心感のある見守り環境を維持していくため、協力はいたしますが、町内会から推薦している民生委員および交通安全指導員の推薦の在り方について、見直しを要望します。

#### <沿岸地域への防潮堤建設>

全国で自然災害による甚大な被害は後を絶ちません。

苫小牧市では、昨年7月にカムチャッカ半島沖で発生した地震に伴う津波警報により、沿岸地域に避難指示が出されたのは、記憶にも新しいところです。

市内の沿岸には、多くの住宅・企業があり、大津波が襲来した時には多くの人命、土地や財産が失われることとなりますので、ぜひとも、防潮堤建設の早期実現にご尽力いただくよう、要望します。

### <空き家の適正管理>

長期間放置された空き家は、雑草や樹木の繁茂、建物の破損により、地域の生活環境や安全確保に悪影響をもたらしています。

近年は、地球温暖化などの影響もあり、風雨災害は年々増加しており、いつか大きな被害が出るのではないかと、地域の不安は以前よりも増しておりますので、所有者に対する適切な指導と、改善に向けた措置を講じていただくことを求めます。

### <鹿・熊による被害対策>

市内では、鹿の生息域が住宅街にまで拡大し、時期を問わず交通事故や採食被害などの被害が出ており、住民の間に強い不安が広がっています。

また、熊の出没も常態化し、年々、目撃情報が増えており、今年に入っても住宅街での目撃情報が出ており、人身被害の懸念が高まっています。

苫小牧市では、北海道と連携しながら駆除・捕獲対策などに取り組みられておられますが、市民の安全と生活環境の保全を図るため、より実効性のある対策を講じていただくことを求めます。